

2025 年度海外派遣選手選考要領及び選考基準

公益社団法人日本バイアスロン連盟選手選考委員長

発出日：2025 年 6 月 4 日

このことについて、次のとおり決定したので公表します。

1 選考対象大会

(1) IBU ワールドカップ及び IBU カップ派遣選手選考

第 5 回北海道通信社杯 第 37 回サマーバイアスロン日本選手権大会の競技成績により派遣選手の選考を行う。

＜第 5 回北海道通信社杯 第 37 回サマーバイアスロン日本選手権大会日程＞

9 月 3 日（水） 公式トレーニング

9 月 4 日（木） ショートインディビジュアル種目

9 月 5 日（金） 公式トレーニング

9 月 6 日（土） スプリント種目①

9 月 7 日（日） スプリント種目②

(2) ユース・ジュニア世界選手権大会選考

第 5 回北海道通信社杯 第 37 回サマーバイアスロン日本選手権大会の競技成績により IBU キャンプ（12 月 1 日～7 日）の派遣対象者を選考する。IBU キャンプ派遣選手は IBU ジュニアカップに出場し、当該大会の競技成績によりユース・ジュニア世界選手権出場選手の選考を行う。

2 参加資格

公益社団法人日本バイアスロン連盟の正会員である強化指定選手並びに強化育成部会がそれに準ずる競技力を有すると判断した者。

3 選考対象種目

(1) ローラースキーにて実施される 3 種目とする。

（ショートインディビジュアル、スプリント①②の計 3 戦）

その際、競技用ライフルとレーザーライフル使用による区別はしない。

(2) 各種目のコース及び距離等は後日別示する大会要項による。

4 選考要領・選考基準

(1) 海外派遣選手人数

① IBU ワールドカップ及び IBU カップ

男子 5 名・女子 3 名

※選考免除選手（男子：立崎幹人、山本大晴、小島清雅）を含む。

選考免除理由：IBU ワールドカップ出場権利を有しているため。

② ユース・ジュニア世界選手権大会

4 名を上限とする。

※選考免除選手（男子：徳竹佑哉、遠藤佳人）を含む。

選考免除理由：ジュニア A ランク（クロスカントリー競技において国内 FIS レース 20 位以内及びインターカレッジスキー大会 10 位以内の走力を有する者）であるため。

(2) 選考手続

① IBU ワールドカップ及び IBU カップ派遣選手選考

ア) 各種目とも最下位を 2 点とし、以後 2 点刻みでポイントを付与・加算する。

イ) 3 種目の合計ポイント数の高い選手を選出する。

ウ) 同点の場合は、3 戦の合計タイムの少ない選手を優先して選出する。

エ) 選考免除選手は、ポイント付与の対象としない。

〈参考資料：ポイント計算表〉

1 位のポイントは、出場者数×2 点とする。

（例）男子 9 名、女子 8 名が出場した場合

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位
男子	18 点	16 点	14 点	12 点	10 点	8 点	6 点	4 点	2 点
女子	16 点	14 点	12 点	10 点	8 点	6 点	4 点	2 点	

- ② ユース・ジュニア世界選手権大会選考
7月以降別示する。

5 メディカルチェック

選考対象大会に出場する選手は、当連盟指定の項目による健康診断（国立スポーツ科学センター；JISS が定める内科メディカルチェックに準ずる。）を行い、その結果を当該大会の参加申込に添付して提出しなければならない。

当該診断結果において、長期間にわたる海外派遣及び国際競技大会の転戦に支障があると医師から判断された者については、海外派遣選手としての選考基準を満たした場合であっても、今シーズンの海外派遣の対象外とする。

なお、この場合、選考の次点者を繰り上げて海外派遣選手とする。

〈参考：JISS「内科メディカルチェック」〉

<https://www.jpnsport.go.jp/hpsc/business/ourwork/medicalinfo/check/tabid/1319/Default.aspx>

6 マテリアルコントロール（ローラースキー）

IBU サマーバイアスロン基準に準ずる。

ローラースキーの機種は同一機種（MARWE MS610A 0 番タイヤ）に統制し、当連盟から貸与する。

大会公式トレーニング前日、当連盟マテリアル点検係がタイヤ交換及び点検を実施する。

公式トレーニング及び競技実施前に当連盟保管場所からローラースキーを受領し、以降レースエリアからの持出しを禁止とする。

使用後はその都度連盟保管場所に速やかに返納する。

7 費用負担

海外派遣に要する費用のうち、渡航費の負担については以下のとおりとする。

- (1) Aランク・・・4 (1) ①・②に掲げた選考免除選手とし、往路のみ選手自己負担とする。

＜該当選手＞

立崎幹人、山本大晴、小島清雅、徳竹佑哉、遠藤佳人

- (2) Bランク・・・Aランク以外の選手とし、往路・復路を選手自己負担とする。

8 オリンピック出場選手選考要領・選考基準

- (1) オリンピック出場可能選手人数

- ① IBU 国別ランキング 20 位以上の場合

出場選手人数枠が各国に以下のとおり付与される。

1～3 位・・・男女各 6 名出場、4～10 位・・・男女各 5 名出場、11～20 位・・・男女各 4 名出場

- ② IBU 国別ランキング 21 位以下の場合

男子 2 名・女子 2 名（いずれも上限）

IBU 国別ランキング 21 位以下のすべての国のうち、個人ポイント上位 12 名の選手へ個人の出場権利が与えられる（ただし、各国最大男女各 2 名）。

- (2) 選考基準

- ① IBU 国別ランキング 20 位以上の場合

2024/2025 シーズンの IBU ワールドカップ全戦の国別競技成績をもって、国別ランキングに則り出場人数が決定する。

当該出場人数の範囲内において、海外派遣選手から個人ポイント上位順に出場選手を選出する。

- ② IBU 国別ランキング 21 位以下の場合

2025/2026 シーズンの IBU ワールドカップ第 5 戦(RUHPOLDING)及び IBU カップ第 5 戦(BREZNO-OSRBLIE)までの個人競技成績のうち、個人ポイントの良いものから順に過去 3 レース分の平均ポイントを算出。前項（1）に掲げたとおり上位 12 名からオリンピック出場選手が選出される。

※IBU ワールドカップ第 5 戦・IBU カップ第 5 戦の終了予定日：2026 年 1 月 18 日

- (3) その他

選考要領・選考基準は IOC 及び IBU 作成の原典（別添）をもとに作成しているため、日本語版との齟齬がある場合は原典の内容を優先する。